

[標準様式例 7-3]

随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	R 3 道の駅防災機能等検討業務
業 務 概 要	本業務は、道の駅の防災機能等について整理し、「道の駅」の広域的な防災拠点としての役割や機能・施設を検討するとともに、重点「道の駅」等について、取り組み状況を整理し効果的な支援方策を検討するものである。
契約担当官等の氏名並びにその所属する部の名称及び所在地	支出負担行為担当官 関東地方整備局長 土井 弘次 埼玉県さいたま市中央区新都心2番地1
契 約 年 月 日	令和3年 5月24日
契 約 業 者 名	R 3 道の駅防災機能等検討業務日本みち研究所・片平新日本技研設計共同体
契 約 業 者 の 住 所	東京都江東区木場二丁目15番12号MAビル
契 約 金 額	¥19,910,000円 (税込み)
予 定 価 格	¥19,943,000円 (税込み)
随意契約によることとした理由	本業務を遂行するためには、高度な技術力や知識、豊富な経験を必要とすることから、技術力、知識、経験及び業務への取り組み姿勢に関する技術提案を求め公平性、透明性及び客観性が確保される簡易公募型プロポーザル方式により、請負業者の選定を行った。 R 3 道の駅防災機能等検討業務日本みち研究所・片平新日本技研設計共同体は、技術提案書において総合的に最も優れた提案を行った業者であり、当該業務を実施するのに適切と認められたため、上記業者と契約を行うものである。
業 務 場 所	埼玉県さいたま市中央区新都心2-1 国土交通省関東地方整備局
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務
履 行 期 間 (自)	令和3年 5月25日
履 行 期 間 (至)	令和3年12月25日
備 考	会計法29条の3第4項 予決令第102条の4第3号

備考

公表対象随意契約が単価契約である場合には、契約金額欄に契約単価を記載するとともに、備考欄に単価契約である旨及び契約単価に予定調達数量を乗じた額を記載する。